

実施報告書

1. 確認事項等

施設番号	66-1142				
施設名	仲町にこにこ保育園				
施設所在地	東京都小平市仲町3 5 1 - 3 8				
法人名	社会福祉法人 豊仁会				
活動期間	令和	6	年	10	月 から 令和 7 年 3 月
活動内容の公表	✓	活動報告書を作成し、園のホームページ等で公表した。			
		公表したホームページ等のURL		https://nakamachi-nikoniko.com	

2. 活動報告（注1）

番号	1				
テーマ	科学				
実施回数・期間 （注2）	合計4回（内訳：10月1回、11～12月1回、2月1回、2～3月1回）/令和6年10月から令和7年3月まで				
対象クラス・ 対象人数	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス
				15	15
活動内容 （注3）	ダイラタンシーでは感触を楽しんだり、水と混ぜる実験を楽しめるようにした。水に浮く魚ではホワイトボードマーカーを使用し身の回りの物で様々な不思議な出来事がおきる実験をした。サイエンスショーではレモンの皮で風船が割れる、風が風船を包むとどのような動きをするのか興味が持てるようにする。サイエンスショーをきっかけに、科学を身近な遊びに取り入れられるようになる。				
活動における チェックリスト	✓	グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。			
		クラス毎、幼児全体の単位で、と活動により分け、何を感じたのか話す時間を設けたり、友だちや異年齢児とも思いの共有を促した。			
	✓	活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。			
		すくわく速報と題し、その日の写真をまとめプリントし、保護者にも共有できるようにした。			
	✓	乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。			
		ダイラタンシー等少し変わったものに対してはやりたい子が出来るようにした。水に浮かぶ魚では少グループで行い満足できるまで絵が描けるようにした。			
	✓	記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。			
		振り返り書類を共有のフォルダに入れることで全職員が確認できるようになっている。次の活動につなげられるようにした。			
	✓	幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。			
		保護者に対してはすくわくプログラムの事前説明を行った上、すくわく速報という書類を作ったり、ホームページに公開している。			
	✓	次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。			
		水に浮く魚は楽しむ子が特に多く、自由遊びの時間に出来るようにするとともに、様々なペンやクレヨン等でも実験出来るようにした。			

（注1）活動報告は、複数の活動内容を実施した場合は、活動ごとに記入してください。

（注2）「実施回数・期間」欄には、今年度に継続的（月を単位とする複数月）に実施した取組の実施状況を記入してください。なお、原則、単発で実施した取組については対象になりません。

（注3）「活動内容」欄には、どのような取組を行ったのかがわかるよう記入してください。また、活動報告書等、取組を行ったことがわかる書類の写しを提出してください。